



取扱説明書

製品名称

耐粉塵/エアスライドテーブル

型式 / シリーズ / 品番

MXQ6 (L) -XC4A

MXQ8 (L) -XC4A

MXQ12 (L) -XC4A

MXQ16 (L) -XC4A

MXQ20 (L) -XC4A

MXQ25 (L) -XC4A

SMC株式会社

目次

安全上のご注意	3,4
1. 製品仕様	
1-1 仕様	5
1-2 オプション	5
2. 使用方法	
2-1 取付方法	6~8
2-2 空気源	9
2-3 配管方法	9
2-4 使用環境条件	10
2-5 給油方法	10
2-6 速度調整	11
2-7 アジャスタオプションの取り扱い	11
2-8 機能オプションの取り扱い	12
2-9 対称形の取り扱い	13
2-10 オートスイッチ取付方法	13
3. 保守点検	
3-1 保守点検時の注意	13
3-2 グリースアップ	14
3-3 ピストンロッド ASSY 交換要領	14,15,16
4. 構造図・パーツリスト	16,17



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格 (ISO / IEC)、日本産業規格 (JIS)*¹⁾ およびその他の安全法規*²⁾に加えて、必ず守ってください。

- *1) ISO 4414: Pneumatic fluid power -- General rules relating to systems
ISO 4413: Hydraulic fluid power -- General rules relating to systems
IEC 60204-1: Safety of machinery -- Electrical equipment of machines (Part 1: General requirements)
ISO 10218: Manipulating industrial robots--Safety
JIS B 8370: 空気圧システム通則
JIS B 8361: 油圧システム通則
JIS B 9960-1: 機械類の安全性 - 機械の電気装置 (第 1 部: 一般要求事項)
JIS B 8433: 産業用マニピュレーティングロボット-安全性 など
- *2) 労働安全衛生法 など



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



危険

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

警告

- ① **当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。**
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。
このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。
常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ② **当社製品は、十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。**
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③ **安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。**
 1. 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④ **次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策への格別のご配慮をいただくと共に、あらかじめ当社へご相談くださるようお願い致します。**
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、医療機器、飲料・食料に触れる機器、燃焼装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログの標準仕様に合わない用途の場合。
 3. 人や財産に大きな影響をおよぼすことが予想され、特に安全が要求される用途への使用。
 4. インターロック回路に使用する場合は、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの 2 重インターロック方式にしてください。また、定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



安全上のご注意

⚠ 注意

当社の製品は、製造業向けとして提供しています。

ここに掲載されている当社の製品は、主に製造業を目的とした平和利用向けに提供しています。

製造業以外でのご使用を検討される場合には、当社にご相談いただき必要に応じて仕様書の取り交わし、契約などを行ってください。

ご不明な点などがありましたら、当社最寄りの営業拠点にお問い合わせ願います。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{*3)}
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。
- ②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換品の提供を行わせていただきます。
なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。
- ③その他製品個別の保証および免責事項も参照、理解の上、ご使用ください。

^{*3)} 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。

真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。

ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる摩耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。

⚠ 注意

当社製品は、法定計量器として使用できません。

当社が製造、販売している製品は、各国計量法に関連した型式認証試験や検定などを受けた計量器、計測器ではありません。

このため、当社製品は各国計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。

1. 製品仕様

1-1 仕様

型式	MXQ6	MXQ8	MXQ12	MXQ16	MXQ20	MXQ25
シリンダ内径(mm)	φ6	φ8	φ12	φ16	φ25	φ25
配管接続口径	M5×0.8				Rc1/8	
使用流体	空気					
作動方式	複動形					
使用圧力	0.3~0.7MPa			0.15~0.7MPa		
保証耐圧力	1.05MPa					
周囲温度および使用流体温度	-10~60°C (凍結なきこと)					
使用速度範囲 (平均作動速度) 注)	50~200mm/s					
クッション	ラバークッション(標準, アジャスタオプション/ラバーストッパ) なし (アジャスタオプション/メタルストッパ)					
給油	無給油					
オートスイッチ	有接点オートスイッチ(2線式, 3線式) 無接点オートスイッチ(2線式, 3線式) 2色表示式無接点オートスイッチ(2線式, 3線式)					
ストローク長さの許容差	+1 mm 0					

注) 平均作動速度：ストロークを作動開始からエンドに到達する時間で割った速度

1-2 オプション

アジャスタオプション	ラバーストッパ	前進端(AS)	ストローク調整範囲 0~5mm
		後退端(AT)	
		両端(A)	
	メタルストッパ	前進端(CS)	ストローク調整範囲 0~5mm
		後退端(CT)	
		両端(C)	
機能オプション	軸方向配管形		

2. 設置方法・使用方法

⚠ 警告

アクチュエータの使用については、ご使用前に必ずカタログ(Best Pneumatics No.③)のアクチュエータ/共通注意事項を参照下さい。

2-1 取付け

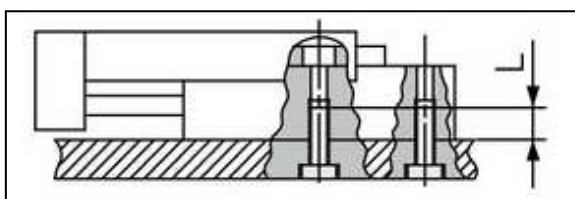
⚠ 注意

2-1 取付方法

(1) 本体取付方法

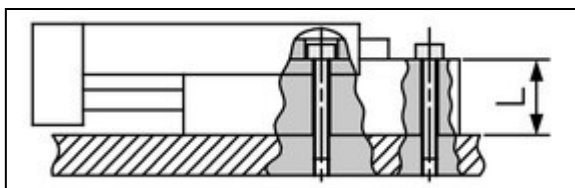
機械やワークに合わせて、3種類の取付けができます。

1. 横取付形 (ボディタップ)



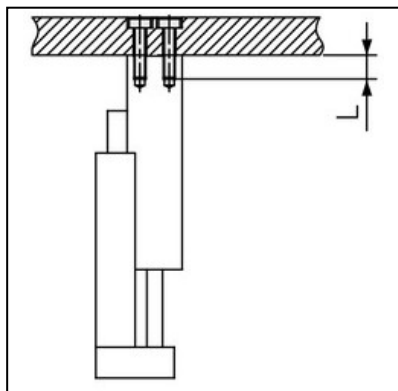
型式	使用ボルト	最大締付トルク N・m	最大ねじ込み深さ Lmm
MXQ6(L)	M4×0.7	2.1	8
MXQ8(L)	M4×0.7	2.1	8
MXQ12(L)	M5×0.8	4.4	10
MXQ16(L)	M6×1	7.4	12
MXQ20(L)	M6×1	7.4	12
MXQ25(L)	M8×1.25	18.0	16

2. 横取付形 (通し穴使用)



型式	使用ボルト	最大締付トルク N・m	ボディ厚さ Lmm
MXQ6(L)	M3×0.5	1.2	10.5
MXQ8(L)	M3×0.5	1.2	12.5
MXQ12(L)	M4×0.7	2.8	16
MXQ16(L)	M5×0.8	5.7	21
MXQ20(L)	M5×0.8	5.7	26
MXQ25(L)	M6×1	10.0	32

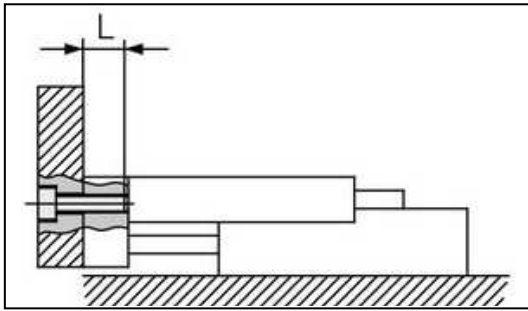
3. 縦取付計 (ボディタップ)



型式	使用ボルト	最大締付トルク N・m	最大ねじ込み深さ Lmm
MXQ6(L)	M2.5×0.45	0.5	4
MXQ8(L)	M3×0.5	0.9	4
MXQ12(L)	M4×0.7	2.1	6
MXQ16(L)	M5×0.8	4.4	7
MXQ20(L)	M5×0.8	4.4	8
MXQ25(L)	M6×1	7.4	10

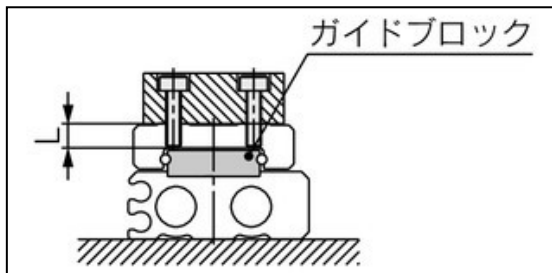
(2) ワーク取付方法

1. 前面取付形



型式	使用ボルト	最大締付トルク N・m	最大ねじ込み深さ Lmm
MXQ6(L)	M3x0.5	0.9	3.5
MXQ8(L)	M4x0.7	2.1	4.5
MXQ12(L)	M5x0.8	4.4	6.5
MXQ16(L)	M6x1	7.4	8.5
MXQ20(L)	M6x1	7.4	11.5
MXQ25(L)	M8x1.25	18	13.5

1. 上面取付形



型式	使用ボルト	最大締付トルク N・m	最大ねじ込み深さ Lmm
MXQ6(L)	M3x0.5	1.2	3.5
MXQ8(L)	M3x0.5	1.2	4.3
MXQ12(L)	M4x0.7	2.8	5.5
MXQ16(L)	M5x0.8	5.7	6.5
MXQ20(L)	M5x0.8	5.7	9
MXQ25(L)	M6x1	10	11

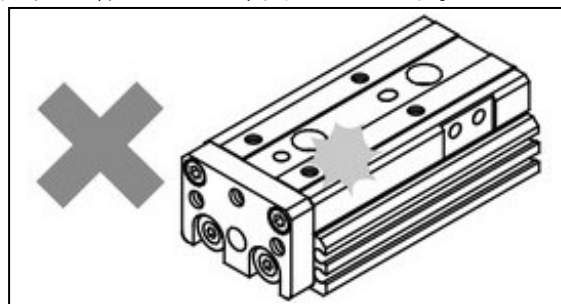
⚠ 注意

ボルトが長いとガイドブロックに当たり作動不良などの原因となります。

(3) 取付上の注意

⚠ 注意

- ① ボディ、テーブル、エンドプレートの取付面には打痕、傷などを付けないでください。
取付け面の平面度が悪くなり、ガイド部のガタの発生、摺動抵抗の増加などの原因となります。
- ② テーブル、ガイドブロックの転送面には打痕、傷など付けないでください。
ガタの発生、摺動抵抗の増加などの原因となります。

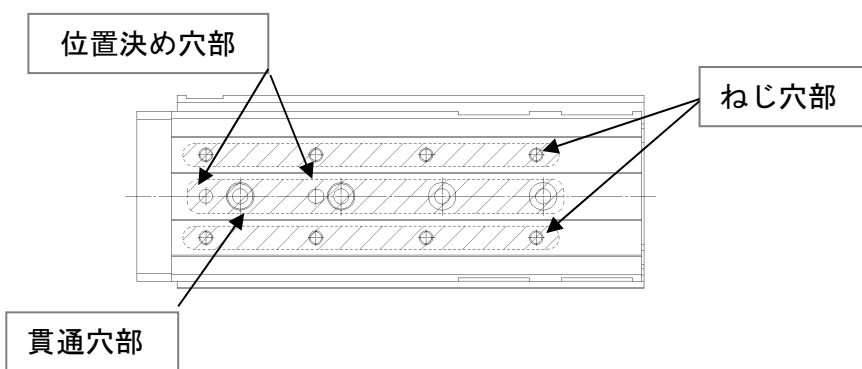


- ③ ワーク取付の際には、強い衝撃や過大なモーメントをかけないでください。
許容モーメント以上の外力が働くと、ガイド部のガタの発生、摺動抵抗の増加などの原因となります。
- ④ 取付面の平面度は0.02mm以下にしてください。
本体に取付けるワーク、ベースなどの平面度が悪いと、ガイド部のガタの発生や摺動抵抗の増加の原因となります。
- ⑤ 外部に支持・案内機構をもつ負荷との接続には、適切な接続方法を選定の上、十分な芯出し作業を行ってください。

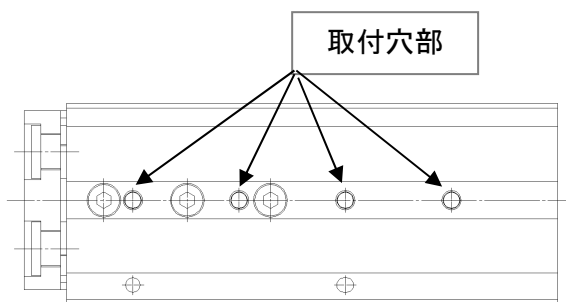
- ⑥ 本体の作動中は手など近付けないようにして下さい。
ストロークアジャスタに挟まれる場合があります。作動中に近付くことがある場合にはカバーを設けるなどの対策が必要です。
- ⑦ 磁石に影響されるものは近付けないでください。
本体には磁石が内蔵されていますので、磁気ディスク、磁気カード、磁気テープなどは近付けないでください。データが消去されてしまうことがあります。



- ⑧ テーブル部に磁石を付けないでください。
テーブルは磁性体でできているので磁石等を付けると磁化されてしまい、オートスイッチ等の誤作動の原因になります。
- ⑨ 本体取付時のねじの締付けは、適切な長さのねじを用い、最大締付けトルク以下で適正に締付けてください。
制限範囲以上の値による締付けは作動不良の原因となり、締付け不足は位置のずれや落下の原因となります。
- ⑩ テーブル上面およびボディ底面の開口部（ねじ穴、位置決め穴など）はテープ、ボルト等で塞いでください。開口箇所があった場合、粉塵がガイド部に侵入し寿命が短くなります。



テーブル上面側



ボディ底面側

2-2 空気源

⚠ 警告

① 流体の種類について

使用流体は圧縮空気を使用し、それ以外の流体で使用する場合は、当社にご確認ください。

② ドレンが多量の場合

ドレンが多量に含んだ圧縮空気は、空気圧機器の作動不良の原因となります。エアドライヤ、ドレンキャッチをフィルタの前に取付けてください。

③ ドレン抜き管理

エアフィルタのドレン抜きを忘れるとドレンが二次側に流出し、空気圧機器の作動不良を招きます。ドレン抜き管理が困難な場合には、オートドレン付フィルタのご使用をお勧めします。

以上の圧縮空気の質についての詳細は、当社の「圧縮空気清浄化システム」をご参照ください。

④ 空気の種類について

圧縮空気が化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガス等を含む時は、破壊や作動不良の原因となりますので、使用しないでください。

⚠ 注意

① 使用流体に超乾燥空気が使用された場合、機器内部の潤滑特性の劣化から機器の信頼性(寿命)に影響が及ぶ可能性がありますので、当社にご確認ください。

② エアフィルタを取付けてください。

バルブ近くの上流側に、エアフィルタを取付けてください。ろ過度は5 μ m以下を選定してください。

③ アフタクーラ、エアドライヤ、ドレンキャッチなどを設置し対策を施してください。ドレンを多量に含んだ圧縮空気はバルブや他の空気圧機器の作動不良の原因となります。アフタクーラ、エアドライヤ、ドレンキャッチなどを設置し対策を施してください。

④ 使用流体温度および周囲温度は仕様の範囲内でご使用ください。

5 $^{\circ}$ C以下の場合、回路中の水分が凍結しパッキンの損傷、作動不良の原因となりますので凍結防止の対策を施してください。

以上の圧縮空気の質についての詳細は、当社の「圧縮空気清浄化システム」をご参照ください。

⑤ 結露対策

空気圧システムにおいて、配管条件や作動条件によっては温度低下により内部結露を生じて、グリースの劣化・流出による寿命低下や作動不良を招くことがあります。

詳細は「空気圧システムにおける結露対策」(P-01-11)をご参照ください。

2-3 配管方法

⚠ 注意

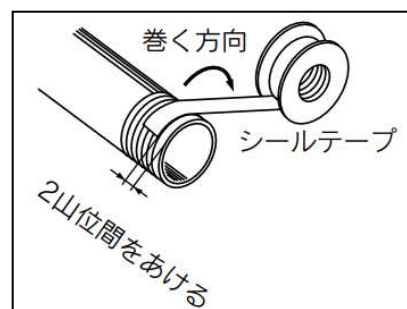
① 配管前の処置

配管前にエアブロー(フラッシング)または洗浄を十分行い、管内の切粉、切削油、ゴミ等を除去してください。

② シールテープの巻き方

配管や継手類をねじ込む場合には、配管ねじの切粉やシール材がバルブ内部へ入り込まないようにしてください。

なお、シールテープを使用される時は、ねじ部を1.5~2山残して巻いてください。



2-4 使用環境条件

警告

- ① 腐食性ガス、化学薬品、海水、水、水蒸気の雰囲気または付着する場所では、使用しないでください。
シリンダの材質については各構造図をご参照ください。
- ② 直射日光の当たる場所では、日光を遮断してください。
- ③ 振動または衝撃の起こる場所では使用しないでください。
破壊や作動不良の原因となりますので、このような環境下での使用は当社にご確認ください。
- ④ 周囲に熱源があり、輻射熱を受ける場所では使用しないでください。
周囲に熱源がある場合は、輻射熱により製品の温度が上昇して使用温度範囲を超える場合がありますので、カバーなどで遮断してください。
- ⑤ 水滴・油滴の掛かる場所ではカバーなどを取付けてください。
- ⑥ オートスイッチをご使用になる場合、強磁界の雰囲気では使用しないでください。
オートスイッチの作動不良の原因となります。
- ⑦ エア機器に使用する圧縮空気の性状や外部環境および運転条件などによりグリース基油の減少が促進され、潤滑性能が低下して機器寿命に影響を与える場合があります。

注意

- ① 切削油などの液体が直接かかる環境では使用しないでください。
切削油、クーラント液、オイルミストなどが本体にかかる環境での使用はガタの発生、摺動抵抗の増加、エア漏れなどの原因となります。
- ② スパッタなどが直接かかる環境では使用しないでください。
ガタの発生、摺動抵抗の増加、エア漏れなどの原因となります。
このような環境での使用は当社にご確認ください。
- ③ リニアガイド部の耐食性にはご注意ください。
レール、ガイドブロックにはマルテンサイト系ステンレスを使用していますがオーステナイト系ステンレスを比較すると耐食性は劣るのでご注意ください。
- ④ ご使用条件（周囲温度 40℃以上、加圧保持、低頻度作動など）により、内部の潤滑油およびグリースの基油がシリンダ外部に滲み出す場合があります。清浄環境を要する場合はご注意ください。

2-5 給油方法

警告

無給油タイプシリンダへの給油

初期潤滑されていますので無給油で使用できます。

給油される場合はタービン油 1 種（無添加）ISO VG32 を給油してください。マシン油、スピンドル油は使用しないでください。

また、給油を途中で中止された場合、初期潤滑部の消失によって作動不良を招きますので、給油は必ず続けて行うようにしてください。

なお、タービン油を使用する場合は、タービン油の製品安全データシート(SDS)をご覧ください。

また給油を途中で中止された場合、初期潤滑部の消失によって作動不良を招きますので、給油は必ず続けて行うようにしてください。

2-6 速度調整

⚠ 注意

シリンダの駆動速度はスピードコントローラを取付けて、低速側より徐々に所定の速度に調整してください。

ピストン速度が必要以上に速いと、ガイド部に使用する衝撃力が大きくなり、寿命に悪影響を及ぼします。

2-7 アジャスタオプション取扱い上のご注意

●ストロークアジャスタ

⚠ 注意

① 専用アジャストボルト以外のボルトに交換しないでください。

衝撃などによりガタの発生・破損の原因となります。

② ロックナットの締付トルクは右表に従ってください。

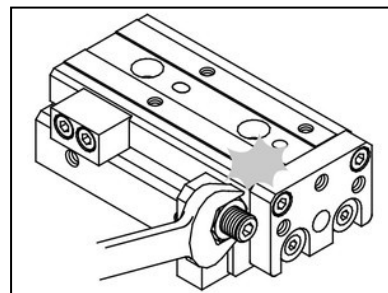
締付不良は位置決め精度低下の原因となります。

型式	締付トルク N・m
MXQ6(L)	3.0
MXQ8(L)	5.0
MXQ12(L)	12.5
MXQ16(L)	25.0
MXQ20(L)	43.0
MXQ25(L)	69.0

③ ストロークアジャスタの調整の際、スパナなどを

テーブルに当てぬようご注意ください。

ガタの原因となります。



2-8 アジャスタオプション取付け上のご注意

ラバーストッパ

注意

- ① 機種によってはボディ取付ボルトとテーブル取付ボルトの長さが異なりますのでご注意ください。

前進端ストロークアジャスタ(AS)のMXQ6, 8はボディ取付部とテーブル取付部の六角穴付ボルトの長さが異なりますので、取付には十分注意願います。

長さを間違えて組立てるとガタおよび作動不良の原因となります。

- ② 取付ボルトの締付トルクは下表に従ってください。

締付け不良は位置決め精度低下および作動不良の原因となります

型式	前進端ストロークアジャスタ(AS)				後退端ストロークアジャスタ(AT)	
	ボディ取付部		テーブル取付部			
	ねじサイズ	締付トルク(N・m)	ねじサイズ	締付トルク(N・m)	ねじサイズ	締付トルク(N・m)
MXQ6(L)	M2.5x6	0.5	M2.5x8	0.5	M2.5x6	0.5
MXQ8(L)	M3x8	0.9	M3x10	0.9	M3x8	0.9
MXQ12(L)	M4x12	2.1	M4x12	2.1	M4x10	2.1
MXQ16(L)	M5x16	4.4	M5x16	4.4	M5x12	4.4
MXQ20(L)	M6x16	7.0	M6x16	7.0	M5x14	4.4
MXQ25(L)	M8x18	18.0	M8x18	18.0	M6x18	7.0

メタルストッパ

注意

- ① 機種によってはボディ取付ボルトとテーブル取付ボルトの長さが異なりますのでご注意ください。

前進端ストロークアジャスタ(CS)のMXQ6,8,20,25はボディ取付部とテーブル取付部の六角穴付ボルトの長さが異なりますので、取付には十分注意願います。

長さを間違えて組立てるとガタおよび作動不良の原因となります。

- ② 取付ボルトの締付トルクは下表に従ってください。

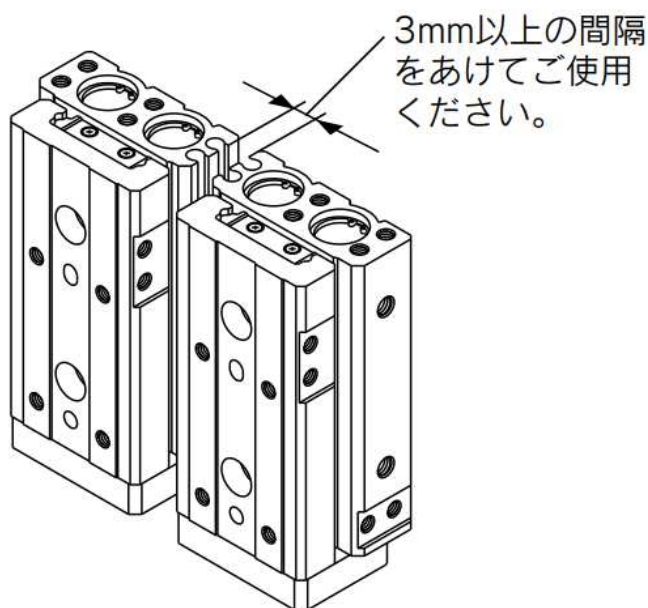
締付け不良は位置決め精度低下および作動不良の原因となります

型式	前進端ストロークアジャスタ(AS)				後退端ストロークアジャスタ(AT)	
	ボディ取付部		テーブル取付部			
	ねじサイズ	締付トルク(N・m)	ねじサイズ	締付トルク(N・m)	ねじサイズ	締付トルク(N・m)
MXQ6(L)	M2.5x6	0.5	M2.5x8	0.5	M2.5x6	0.5
MXQ8(L)	M3x8	0.9	M3x10	0.9	M3x8	0.9
MXQ12(L)	M4x12	2.1	M4x12	2.1	M4x10	2.1
MXQ16(L)	M5x16	4.4	M5x16	4.4	M5x12	4.4
MXQ20(L)	M6x16	7.0	M6x20	7.0	M5x14	4.4
MXQ25(L)	M8x18	18.0	M8x20	18.0	M6x18	7.0

2-9 対称形の取扱い

⚠ 注意

- ① 標準形と対称形を並べる場合には **3mm 以上**の間隔を取ってください。
間隔が少ないとオートスイッチ誤作動の原因となります。



2-10 オートスイッチ取付方法

⚠ 注意

取付け上の注意

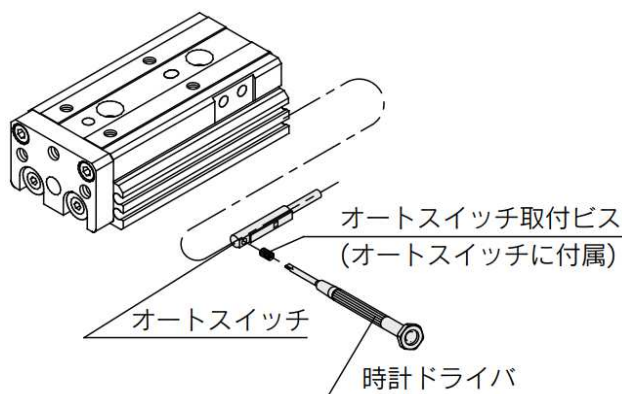
- ① オートスイッチ取付工具

オートスイッチの止めねじ（オートスイッチに付属）を締付ける際には握り径 **5~6mm** 程度の時計ドライバを使用してください。

- ② 締付けトルクについて

オートスイッチ取付けビスの締付トルク

オートスイッチ型式	締付トルク(N・m)
D-A9□(V)	0.10~0.20
D-M9□(V)	0.05~0.15
D-M9□W(V)	0.05~0.15
D-M9□A(V)	0.05~0.10



3. 保守点検

3-1 保守点検時の注意

⚠ 注意

- ① 保守点検は、取扱説明書の手順で行ってください。
取扱いを誤ると、機器や装置の破壊や作動不良の原因となります。
- ② 機器の取外しおよび圧縮空気の給・排気
機器を取外す時は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから、供給する空気と設備の電源を遮断し、システム内の圧縮空気を排気してから行ってください。また、再起動する場合は、飛出し防止処置がなされていることを確認してから、注意して行ってください。

3-2 グリースアップ

⚠ 注意

- ① ガイド部へのグリースアップ
初期潤滑されていますので、グリースアップは不要ですが、グリースアップする時はリチウム系のグリースを給油してください。
- ② ピストンロッドセット交換時
専用グリースを用意していますので、パッキン及び摺動部に塗布してください。

グリース塗布箇所	専用グリース品番	内容量(g)
ガイド部	GR-S-010	10g
	GR-S-020	20g
シリンダ部	GR-L-005	5g
	GR-L-010	10g

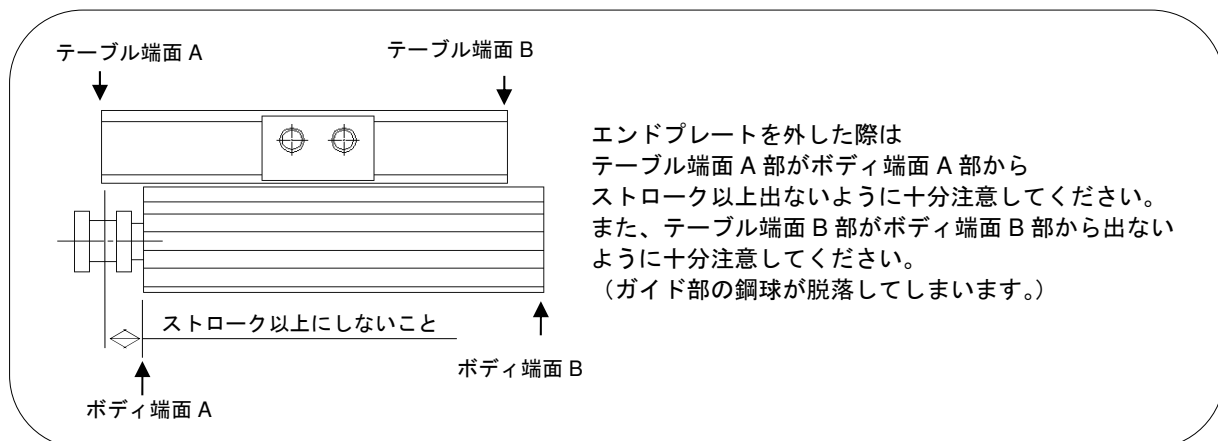
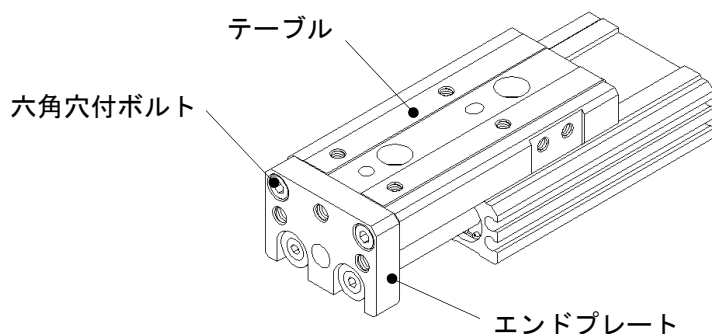
3-3 ピストンロッド ASSY 交換要領

⚠ 注意

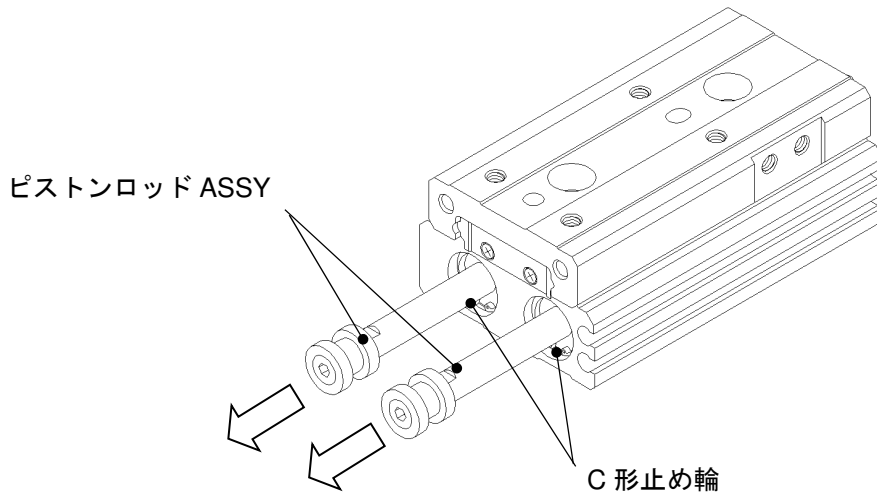
- ① エアスライドテーブルのリニアガイド部は分解しないでください。
- ② 専用グリースを用意しておりますので、パッキン部および摺動部に塗布してください。

(交換手順)

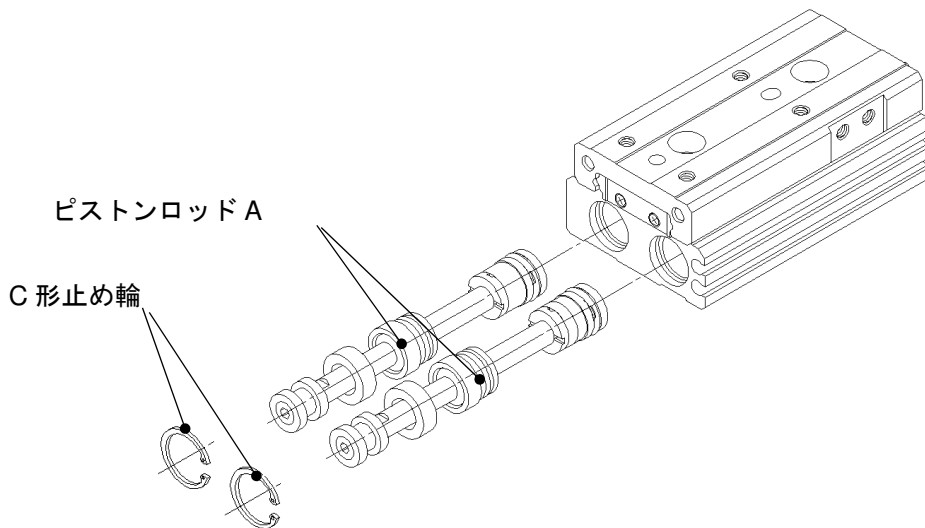
- ① エンドプレートとテーブルを接続している六角穴付ボルトを外す。
- ② エンドプレートを外す。



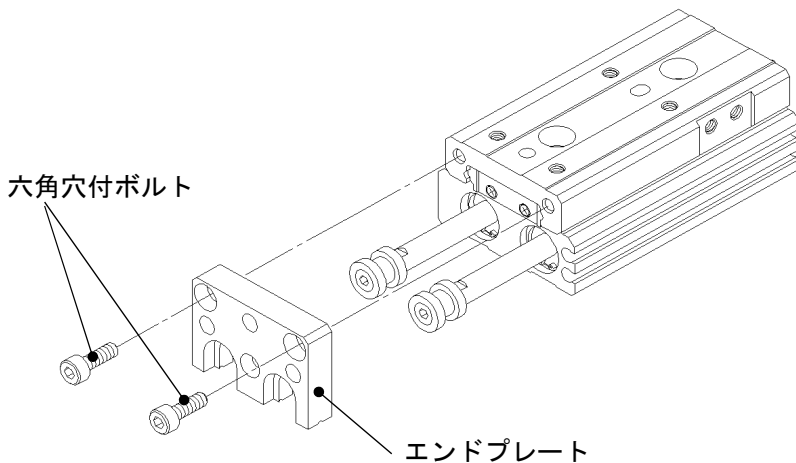
- ③ C形止め輪を外す。(止め輪工具を使用)
- ④ ピストンロッド ASSY を引抜く。



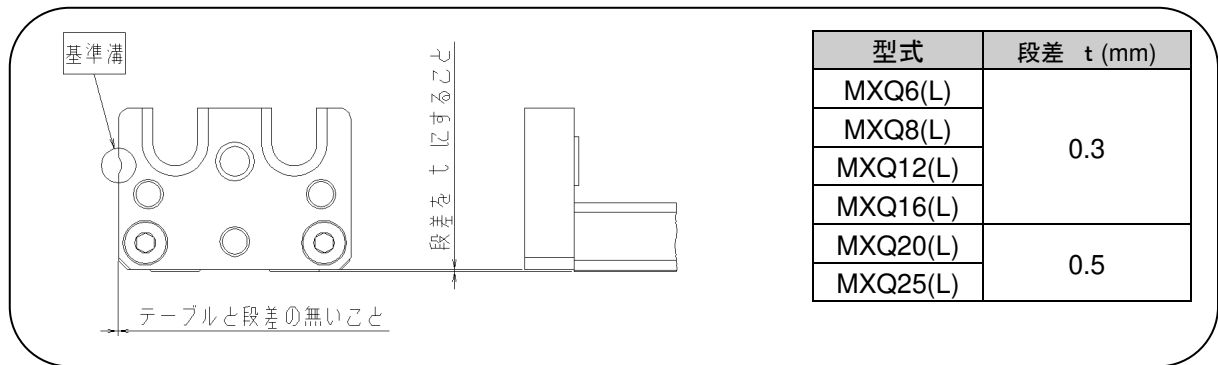
- ⑤ パッキン部、摺動部にグリースを塗布し、新しいピストンロッド ASSY を挿入する。
- ⑥ C形止め輪で固定する。(止め輪工具を使用)



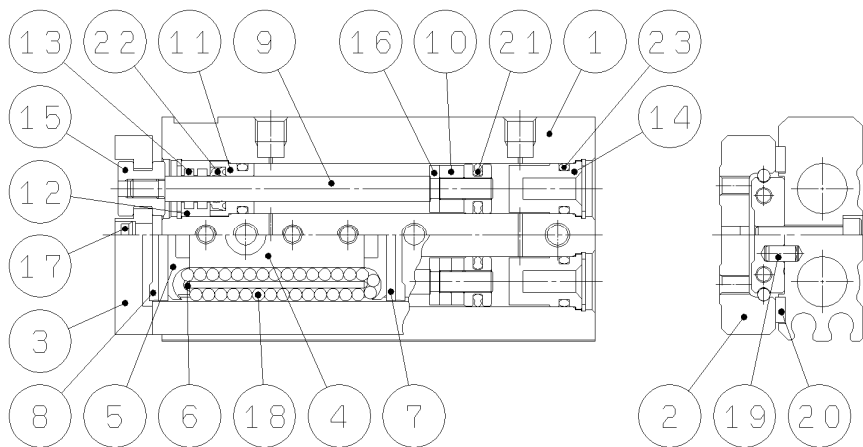
- ⑦ エンドプレートを取付ける。
- ⑧ エンドプレート取付用ボルトを規定トルクで締付ける。



型式	ねじサイズ	締付トルク(N・m)
MXQ6(L)	M2.5x6	0.5
MXQ8(L)	M3x6	0.9
MXQ12(L)	M4x8	2.1
MXQ16(L)	M5x10	4.3
MXQ20(L)	M5x16	4.3
MXQ25(L)	M6x16	6.9

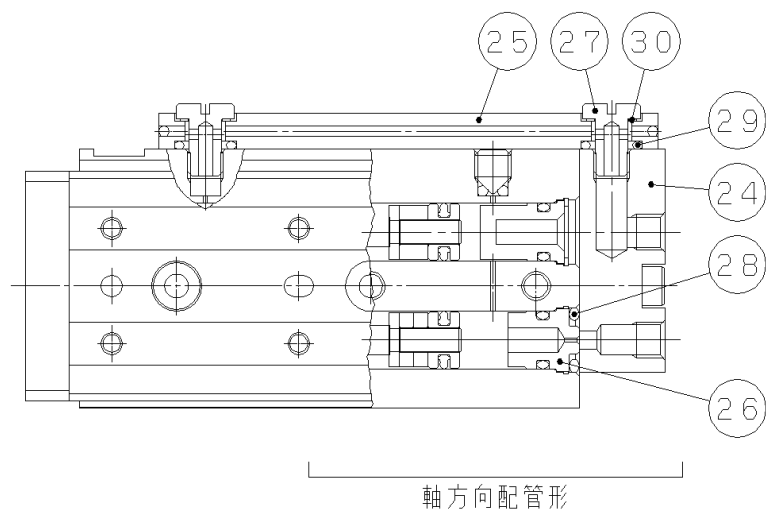


4. 構造図・パーツリスト



構成部品

番号	部品名	材質	備考
1	ボディ	アルミニウム合金	アルマイト処理
2	テーブル	ステンレス鋼	熱処理、無電解ニッケルメッキ
3	エンドプレート	アルミニウム合金	アルマイト処理
4	ガイドブロック	ステンレス鋼	熱処理
5	カバー	合成樹脂	
6	リターンガイド	合成樹脂	
7	端面ルブリテナー	ポリエステル繊維複合体	
8	スクレーパ	ステンレス鋼、NBR	
9	ロッド	ステンレス鋼	硬質クロムメッキ
10	ピストン Ass'y	—	片側磁石付
11	ロッドカバー	アルミニウム合金	アルマイト処理
12	パッキンサポート	ステンレス鋼	
13	ロッド部ルブリテナー	ポリエステル繊維複合体	
14	ヘッドキャップ	合成樹脂	
15	フローティングブッシュ	ステンレス鋼	
16	ロッドダンパ	ポリウレタン	
17	エンドダンパ	ポリウレタン	
18	鋼球	高炭素クロム軸受鋼	
19	平行ピン	ステンレス鋼	
20	底面ルブリテナー	ポリエステル繊維複合体	
21	ピストンパッキン	NBR	
22	ロッドパッキン	NBR	
23	Oリング	NBR	

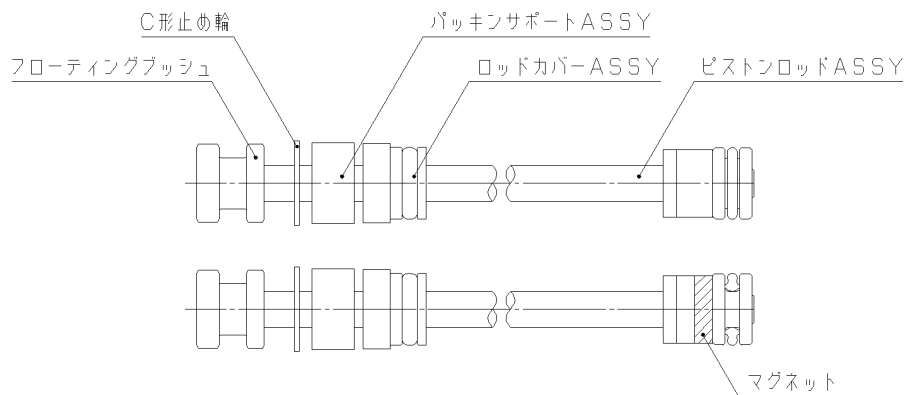


軸方向配管形／構成部品

番号	部品名	材質	備考
24	軸方向配管エンドプレート	アルミニウム合金	アルマイト処理
25	パイプ	アルミニウム合金	アルマイト処理
26	ブッシュ	アルミニウム合金	クロメート処理
27	スタッド	黄銅	無電解ニッケルメッキ
28	Oリング	NBR	
29	Oリング	NBR	
30	ガスケット	NBR、ステンレス鋼	

交換部品／ピストンロッド SET

シリンダ 内径(mm)	手配品番	内容
6	MXQ-A607-***-XC4A	下図のセット
8	MXQ-A807-***-XC4A	
12	MXQ-A1207-***-XC4A	
16	MXQ-A1607-***-XC4A	
20	MXQ-A2007-***-XC4A	
25	MXQ-A2507-***-XC4A	



改訂履歴

1: 掲載内容見直し

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>

本社/〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX 15F



0120-837-838

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日, 祝日, 会社休日を除く】

④ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© 2022 SMC Corporation All Rights Reserved